



MEC Design Mercedes-Benz S-Class “2フェースシステム”を採用したボディキット

<http://www.mecdesign.de/>

メルセデス・チューニングのスペシャリストMECデザインが、Sクラスをベースに最新のボディモディファイを提案している。フロントバンパーに設けられたエアインレットには、ドライビングライトとフォグランプをオプションで装着可能にし、またライト無しの場合はメッシュ付きをオーダーすることも可能になっている。これがMECデザインの「2フェースシステム」というわけだ。リアエプロンについても、ディフューザーにスポーティな“エクストリームライン”と“エレガントライン”の「2フェースシステム」を用意し、ユーザーが好みで選べるよう配慮した。またサイドスカートにも5個のLEDバルブ付きと無しのタイプを設定。つまりコンポーネントの組み合わせ次第で、ユーザーのオリジナリティが演出できるようになっている。この他のボディキットにトランクスポイラーを用意し、さらにロウリングモジュールとオーバルパイプ4本出しマフラー、そして22インチのホイールセットをラインナップしている。またインテリアのカスタマイジングを要求するユーザーに対しても、マルチファンクション付きエアバッグステアリング、ヴェロア生地のフロアマット、レーザーインテリアを紹介している。



↑オプションで設定するドライビングライトとフォグランプを装着した例



↑エクストリームラインより若干オトナシイ印象の“エレガントライン”をリアエプロンに組んだ例。テールパイプのトップと水平に位置を合わせたグリッドが、ワイド&ローを演出してくれる



→フロントで約10mm、リアで約

12mmワイド化したボディに合わせ、ホイールもリム深のサイズを選んでいる。サイズはフロントが10.5×22、リアが11.5×22。オリジナルモデル“mecxtremell”はセンターピースに鍛造アルミを採用し、アウトタームにステンレスをコンビネーションしている



↑MECデザイン“ELS (Electronic Lowering System)ロウリングモジュール”でローダウンした足元に、3ピース鍛造モデルの“mecxtremell”をインストールし、コンプリートなボディフォルムを作った。ロウリングモジュールはエアマチックサス装着車のW221、S320、S500と、ABSサスペンション装着車のW221、S320、S65AMG他に対応する



↑ディフューザーに“エクストリームライン”を選び、トランクリッドにスポイラーをセットしたリアスタイル。マフラーはストレートタイプのMECデザインオリジナルモデル。サウンドはまるで地響きのようなとか、迫力のある重低音を轟かせる

→ゲストルームにはエクスクルーシブなウナ製フォルードダウン式テーブルを備えた



→エレガントにアップグレードされたインテリア。マルチファンクショナルステアリング、ヴェロアフロアマットを備え、シートはヌバックレザーで張り替え、MECデザインのロゴをエンボス加工したヘッドレストが備わっている

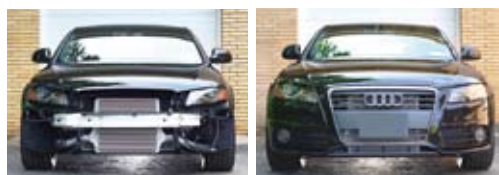


A.W.E. Tuning Audi A4 2.0T エクゾーストシステムと インタークーラー

<http://www.awe-tuning.com/>



↑オールアルミ製、直径63mmの薄肉チューブを採用したインタークーラー



北米のVW & AudiカスタマイジングをリードするAWEチューニングがA4用にテクニカルエキップメントを発表している。2.0リットルTFSIエンジン用にデザインしたマフラーとチップから紹介しよう。A.W.E.は、より排気効率が高く、出力向上を促す製品を設計するために、CADモデリングソフトウェアを使用している。純正マフラーに比べ段付きやヒダが少ないチューブを持つことで、純正比9馬力アップのパフォーマンスと+9Nmのトルク、そしてディープなエクゾーストノートを手に入れている。素材にはT304ステンレスを用い、チップにはデュアル左出し、シングル左右出し、そしてクワッドの3タイプを展開している。またフィニッシュも写真のポリッシュシルバーの他に、ダイヤモンドブラックチップを用意している。同時にA.W.Eチューニングは今回2.0T用インタークーラーもアナウンスしてきた。インハウステストを繰り返してコアの性能とエンドタンクのバランスを徹底解析し、出来上がった製品は、45F(約7°C)という大量の冷却風で吸気温度を下げることを可能にしている。

↑T304ステンレスを用いて製作したエクゾーストシステム。写真左は左右出し、右はクワッドタイプ。パイプの出し方、チップのフィニッシュに選択肢を設けている

